

DECISION

Protest

Request No.: 06

Heard Jointly With Number(s): 07

Event: 2022 Kyushu Int-College Ind Race Number: 4
Hearing Schedule: 2022-07-03 17:00

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 06: Snipe - 10 - JPN 31054 - 前田将太郎

Snipe - 3 - JPN 31683 - 小野 歩

Request No.: 07: Snipe - 3 - JPN 31683 - 歩 小野

Snipe - 4 - JPN 31333 - 慎 元山

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Protest hailed

Red Flag Displayed: Yes

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

当事者に聞き取りをした結果、審問要求6と7について同一インシデントであると判断できたので、同時に審問を行なった。

FACTS FOUND

1. 内側から10はポート、3および4はスターボタックで風下ゲートSに向かってアプローチしていた。
2. 3がゲートSのゾーンに到達した時点で3艇は互いにオーバーラップしていた。
3. 外側の4、3が回航動作をはじめ、続いて内側の10がゾーンでジャイブして回航動作をしようとした時にマークルームが十分ではなかった。
4. 回航の際、内側の10と真ん中の3の間に両艇ミジップ部分で接触があった。損傷はなかった。
5. 外側の4が回航のためラフしてマークルームを狭めてきた。4と3の間隔は15cm - 40cmであった。接触はなかった。

Diagram: Protest Committee diagram attached - 当事者のモデルシップによる航跡をもとに見取り図を作成した。

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 18.2b, 14

ゾーンに入った時点で、3と10の外側にオーバーラップしていた4は、3と10にマークルームを与えなかった。RRS 18.2(b)に違反した。

3は、マークルーム内を帆走していた間に、外側の4がRRS18.2bに違反していたので、10にマークルームを与えることができなかった。しかし、この規則違反はRRS43.1(b)に基づいて免罪される。

マークルームの資格のある10は3との接触を回避しなかったので規則14に違反したが、損傷も傷害も生じなかったため、艇10の、規則14違反は免罪される。

DECISION

4のレース4における成績をDSQとする。

Date & Time: 2022-07-03 18:13 JST

PROTEST COMMITTEE

Chaired By: Yunta Takano (JPN)

Committee Members: Kiyoshi Tomimatsu (JPN), Sato Takumi (JPN)